

シラタマカズラ

か めい
科名 アカネ

べつ めい
別名

がくめい
学名 *Psychotria serpens*



く ぶん
区 分 木本類

ぶん ぶん
分 布 ほんしゅう わかやまけん しこくなんぶ おきなわ
本州 (和歌山県)、四国南部、沖縄、
ちゅうごくなんぶ たいわん
中国南部、台湾、インドシナ

は かたち
葉 の 形 だえんけい らんけい
楕円形、卵形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた たいせい
葉 の 付方 対生

は きぶ がた
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい えきか
実 の 種類 液果

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せいめい
説 明 低地から山地の林内や道沿いに生育する常緑のツル性の木です。根は木の幹や岩などによじ登るような形でついています。葉は長さ1.5-4 cm、幅0.5-2.5 cmです。花は枝先に集まり、まばらに白色の花が咲きます。実は液果、球状楕円形で長さ4-5 mm、白色に熟します。名前由来は、果実が玉のように白色で目立つことからついたといわれています。